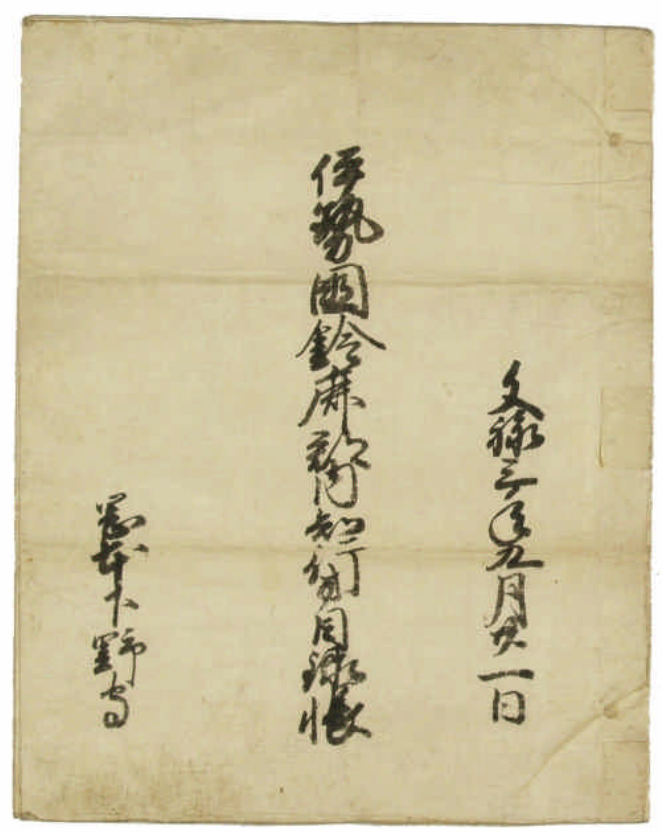


1. はじめに

この算数の時間は、まず、むかしの人が、まちの長さや、米の量をどんなふうにあらわしていたかを見てみるよ。そして、それが、いまのむねむねになつたのかを、たしかめてみようという時間だよ。

2. 豊臣秀吉という武士のなまえ、きいたことがありますかあ
 まずはじめは、豊臣秀吉のときの、このあたりの米の量についてみていくよ。

1



2

知村目録帳
 新川村 尾の村

一八七石五斗五升	尾の村
一八石七斗二升	月村
一八石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	尾の村

3

一八七石五斗五升	尾の村
一八石七斗二升	月村
一八石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	尾の村
一七石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	野尻村
一七石五斗五升	野尻村

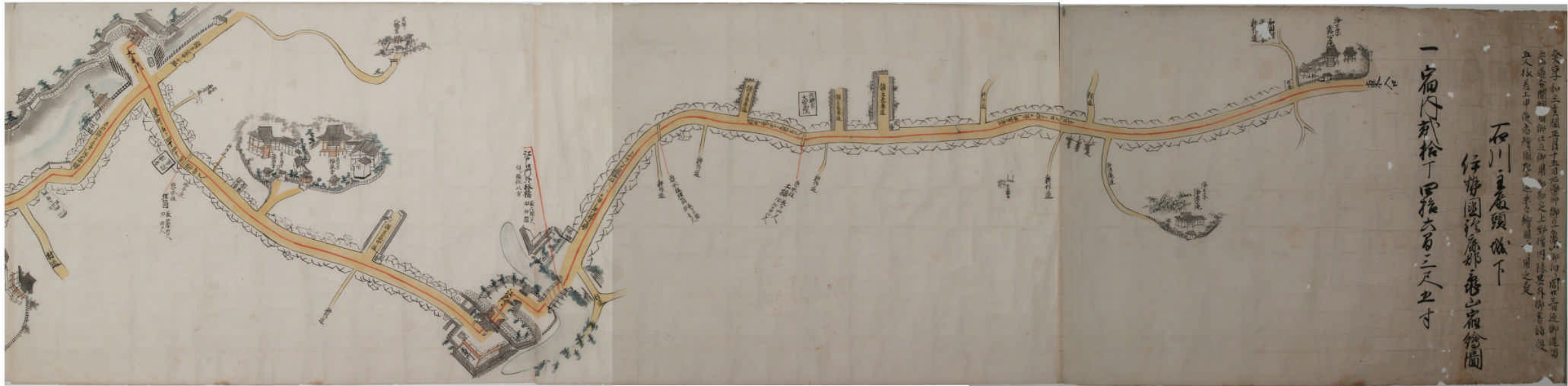
1から8は、豊臣秀吉が亀山城主の岡本良勝と大名の堀尾吉晴に与えた村の書類だよ。

漢数字パズルを参考にしながら二つ計算してみるよ。

亀山市歴史博物館が持っているものだよ。

天正二十年は、一五九二年だよ
 文禄三年は、一五九四年、
 文禄四年は、一五九五年だよ。

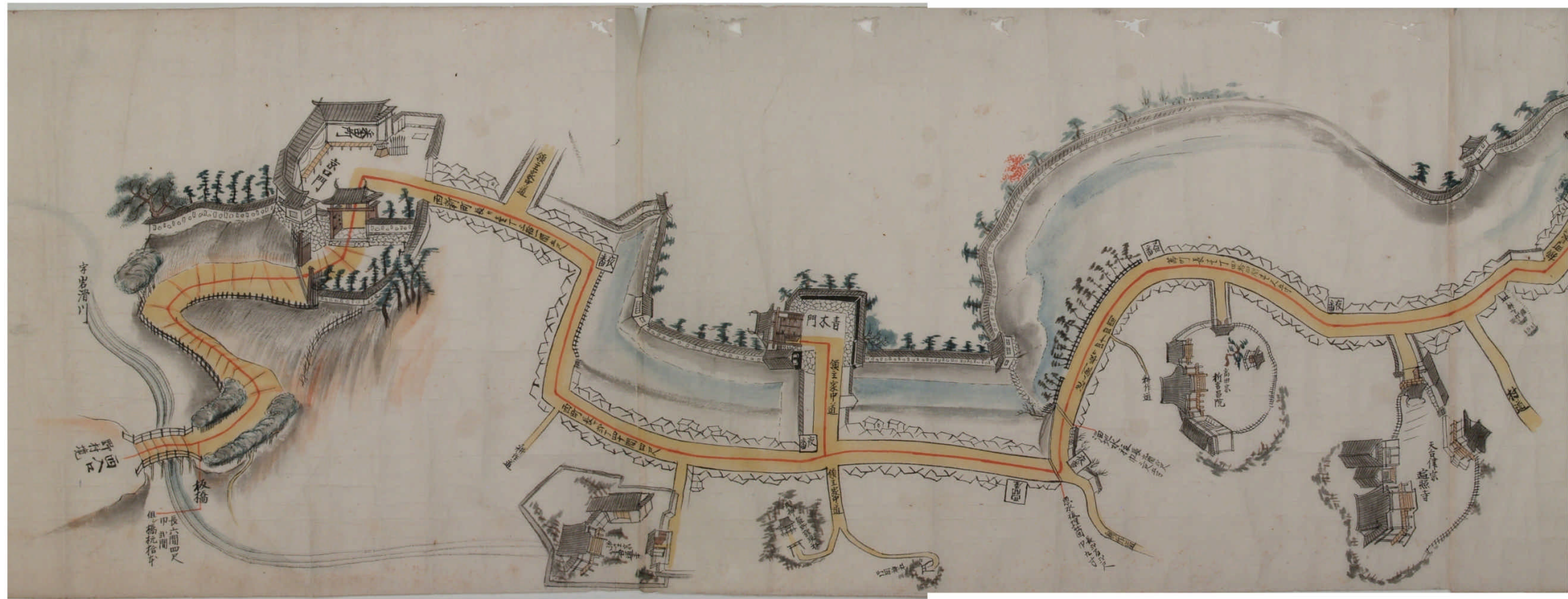
9



9から10は、**亀山市歴史博物館石見雅之家寄託資料**なんだ。
 これは享和三年、一八〇三年につくられた**亀山宿の絵図**だよ。
 いまの本町・東町・西町になるよ。
 道のつぎには、町の長さが書いてあるんだ。

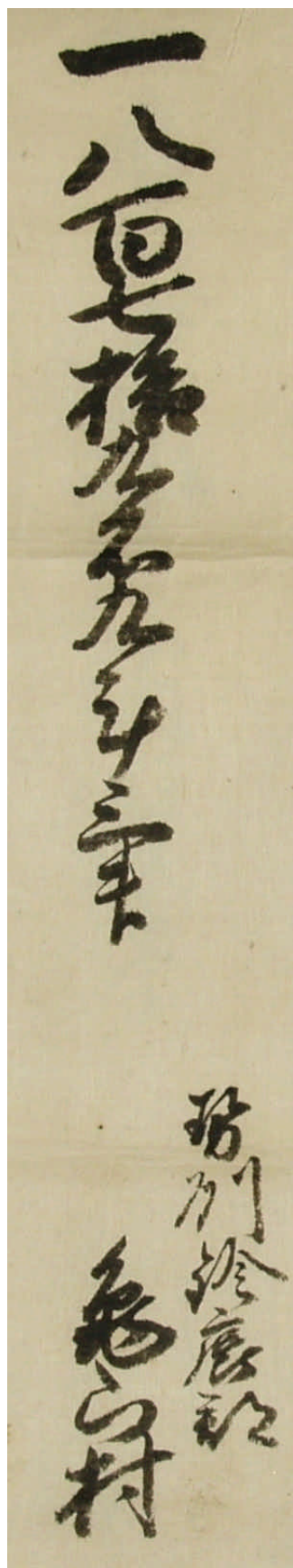
3. じきは、町の長さをしらべよう。亀山宿を例にするよ。

10



4. では、じっさいに計算してどう

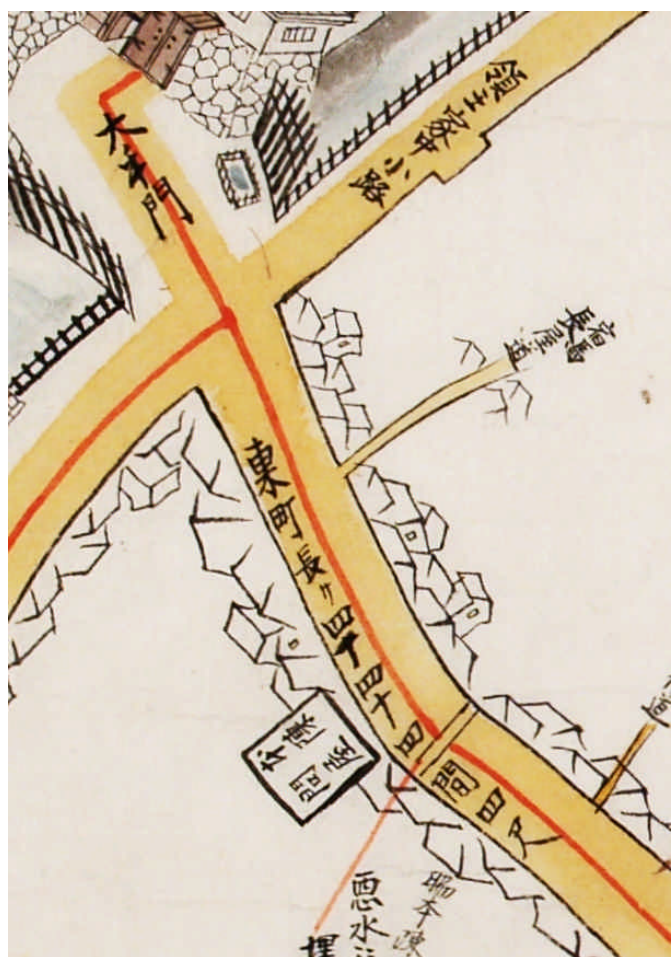
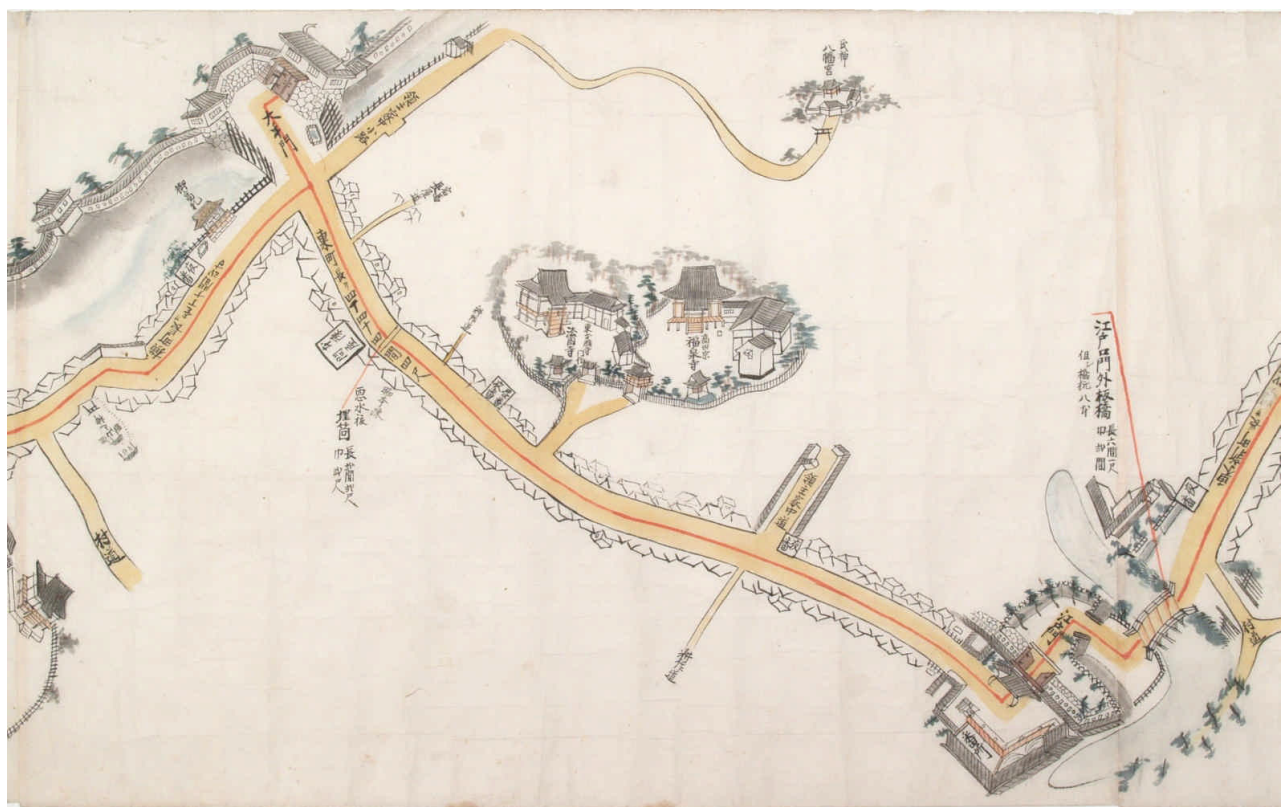
八百七拾九石九斗三升



千三百四拾六石壹斗一升



いまの単位になおすには、もともとなる数が必要なんだ。
 もともとなる数は、まじり一枚のプリントの数の、参考プリント、さっさと計算してどう。



東田長ひ 四十四間四尺

計算のもとになる数字

1. 石高の計算で使う数字

- ① 1石 = 10斗 = 100升
- ② 1斗 = 10升
- ③ 1石 = 2俵半 = 2.5俵
- ④ 1俵は、およそ60kgだから60kgとして計算します。
- ⑤ ということは、1石は、60kg × 2.5俵 = 150kg
- ⑥ 1斗だと、150kg ÷ 10斗 = 15kg
- ⑦ 1升だと、150kg ÷ 100升 = 1.5kg

石高は米俵でなん俵になるのかな計算してみると

八百七拾九石九斗三升は、879石と9斗と3升

ア 石 → kg 150kg × 879石 = 131,850kg

イ 斗 → kg 15kg × 9斗 = 135kg

ウ 升 → kg 1.5kg × 3升 = 4.5kg

ア + イ + ウ = 131,989.5kg = 131.9895トン

では、次の石高の計算するよ。

千三百四拾六石壹斗一升は、1346石と1斗1升

さっきたしかめた式をてほんにしながらかん算してみよう。

石 → kg 150kg × 1346石 =

斗 → kg 15kg × 1斗 =

升 → kg 1.5kg × 1升 =

2. 長さの計算で使う数字

- ① 1里 = 36町は、だいたい4km
- ② 1町 = 60間は、だいたい100m
- ③ 1間 = 6尺は、だいたい 1.8m
- ④ 1尺 = 10寸は、だいたい 30cm
- ⑤ 1m = 100cm

※もとになる数字は、いまは、だいたいの数で計算しているよ。

江戸時代の東町は、

西は、いまの江ヶ室の交番から東は第三銀行のあたりです。

江戸時代の東町の長さ 四十四間四尺は、44間と4尺

エ. 間 → mは、1.8m × 44間 =

オ. 尺 → cmは 30cm × 4尺 = 120cm

カ. オで出た答えを cm → m にするには、

120cm ÷ 100 =

最後に、エ + カを計算すると東町の長さになります。